

市政説明会

を下記の日程で開催します

5月21日(月) 市役所
(3階大会議室)

22日(火) 総合事務所
(保健センター)

23日(水) 市民館

28日(月) 埴生公民館

29日(火) 赤崎福祉会館

30日(水) 厚陽公民館

※ 各会場とも 18:30 から
(1時間30分程度を予定しています)

【テーマ】は

「財政問題」
「自治基本条例」

です。ぜひ、ご参加ください。

【問い合わせ先】

広報広聴課
(☎ 82-1133)

市長から 市民のみなさんへ 49



山形市市長 白井 博文

市政説明会にお越しください

財政問題については、このコラムや、対話の日などで「危機的状況です」と繰り返しお伝えしてきました。また“崖っぷち予算”という衝撃的なネーミングが新聞等で大きく取りあげられ、市民のみなさんにも「市の財政は苦しいのだな」という認識はもっていただいているのではないかと思います。しかし、専門的で難解な用語が大きな壁となり、その“苦しみの度合い”を十分理解していただくまでには至っていないのではないかと感じていました。そこで、少し遅くなりましたが、上記日程で開催する市政説明会では「なぜこのような事態になったのか」「これから先の展望はどうなっているのか」という点に絞ってお伝えしたいと考えています。

折しもテレビ等で報道される夕張市の動向に関心をお持ちの市民の方から「白井市長になって急に財政が苦しいと言いだめたが隠し借金でもあったのか」と尋ねられました。もちろん旧市町時代を含めそのようなものは1円もありません。ただその状況を十分に伝えていなかった、伝えるための努力を怠っていたのではないかとわれればその通りかもしれません。“情報の共有”という、市民と行政との協働のまちづくりのスタートラインが整備されていなかったのです。この点については説明会のもう一つのテーマ「自治基本条例」に関連して行くことです。市民の方には馴染みのない用語かもしれませんが、その必要性、重要性についてもあわせてご理解いただければと考えています。

対話の日

※いずれの会場も19:00から



5月24日(木) 刈屋自治会館
6月14日(木) 永安台公会堂
6月28日(木) 緑が丘自治会館